

日本仏教総合研究学会

第二回例会 山と仏教

—日本の山林仏教をめぐる教理・考古・建築・歴史・民俗—

期 日 平成30年 9月 24日 (月)

会 場 東京大学史料編纂所 大会議室
(情報学環・福武ホールB1F)

*なお、祝日のため例会開始後は、入口が施錠されます。
遅れる場合は、到着後 03-5841-5950 (直通)におかけ下さい。

参加費 500円 来聴歓迎

会長挨拶 吉田一彦 (名古屋市立大学) . . . 13:00~13:05

発 表 (各発表40分)

① 仏教における「行」と山 13:05~13:45

菟輪顕量 (東京大学)

② 日本古代の山林寺院とその建築 . . . 13:45~14:25

箱崎和久 (奈良文化財研究所)

(休憩)

③ 中世後期における修験道と顕密仏教 . 14:45~15:25

近藤祐介 (鶴見大学)

④ 修験道の想像力とは何か 15:25~16:05

鈴木正崇 (慶應義塾大学)

コメント: 曾根正人 (就実大学) 16:20~16:40

討 論 16:40~17:30

懇親会 参加費3,500円 18:00~20:00
(当日、受付にてお支払いください)

《アクセス》

- ・ 東大駅前 (地下鉄南北線) 徒歩 1分
- ・ 本郷三丁目駅 (都営大江戸線) 徒歩 6分
- ・ 本郷三丁目駅 (地下鉄丸の内線) 徒歩 8分
- ・ 湯島駅 (地下鉄千代田線) 徒歩 8分
- ・ 根津駅 (地下鉄千代田線) 徒歩 8分
- ・ 春日駅 (都営三田線) 徒歩 10分

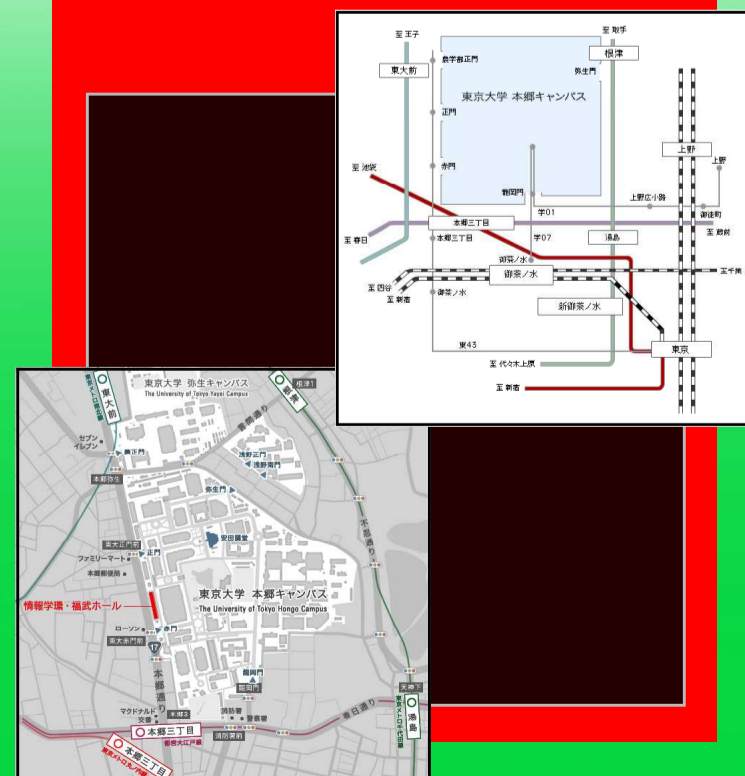


写真: 比叡山延暦寺常行堂 (撮影: 吉田一彦)